

安全で楽しい水遊び

1. 学年 第3学年

2. 本時の目標

水遊びに潜む危険について知り、川や海で安全な遊び方を考える。

3. 本時の展開

[かまえる]

水遊びと聞いて思い浮かぶことは何ですか。

水遊びをする場面（川や海など）を具体的に想起させる。

「去年の夏、海でお父さんと魚を見つけて楽しかったな。」

「川でも魚がいたよ。網ですくってつかまえたよ。」

「プールで滑り台をしたり、流れるところで浮いたりしたよ。」

[のぞむ]

楽しい海での思い出はどんなことですか。

海での思い出や経験を交流することで、海の楽しさを共有させる。

「海でボートに乗って島まで行ったよ。」

「砂浜で山とかお城を作るのも楽しかったな。」

安全な海遊びってどういうことでしょう。

安全に海で遊ぶためには、海の危険性について考える必要がある。

子供たちが今まで感じたことや経験したことの中から危険について考えさせることで、今の危険予測値を捉えることができる。

海の危険については、潮の満ち引きや波の高さ、危険生物、浮遊物について考えさせたい。

「海は危ないからいつもライフジャケットを着ているよ。」

「急に底が深くなっているところがあるからこわかったな。」

[ひらく]

「1491」は何の数を表しているのでしょうか。

1491 という数は、平成 26 年度に水難事故の数である。具体的な数字を取り上げることで水難事故の実態を知るとともに、海の危険に目を向けさせたい。

「水難事故って全国でこんなにたくさん起きているんだな。」

「命に関わる事故ってこわいな。」

海を安全に楽しむために大切なことは何だろう。

海について知ること、浮き具をつけること、大人と一緒に行動することが大切であることを確認したい。

[ふかめる]

こんなとき、あなただったら
どうしますか。

「ひらく」までで考えてきた海の危険性を知った上で取るべき行動と自分の心情が葛藤する場面を設定し、ロールプレイングさせることで、危険予測値を高めていきたい。

お家の人は砂浜でみんなを見てくれています。みんなは浅瀬で遊んでいました。友達が「岩場の向こうにきれいな魚を見つけたよ。」と言いました。あなたは行きますか。行かないですか。

友達の家族とみんなで海に行きました。ライフジャケットを着ているのは自分だけでした。友達はこんなに浅いところで必要ないから脱ぐように言います。あなたはどうしますか。

[ふりかえる]

楽しく安全に海で遊ぶために、みんながすべきことは何でしょう。

自分自身の考えをワークシートに記入し、交流する。

「一人だけや子供だけで海に入っていくのはやめておこう。」

「ライフジャケットとか身につける必要があるな。」

「海の波に気をつけないといけないな。」

板書計画

楽しい水遊び

海・川・プール

こんなときどうする？

安全で楽しい海遊び

→ 安全に楽しむためには

危険・・・波が高くなる・急に深い

潮が満ちる（海の特徴）

海の特徴を知る

流されたら岸に戻れない

クラゲにさされる

大人と一緒にいる

（海の生物）

木が流されてた

浮き具を身につける

（海に浮かんでいるもの）

